

玉名市環境政策アセスメント 報告書 2019



令和2年2月

玉 名 市
環境整備課

玉名市環境政策アセスメント 報告書 2019

目次

環境政策アセスメント	1
1. 制度の概要	2
(1) 目的	
(2) 事務事業の評価	
(3) 事務事業の見直し	
2. 評価結果	3
参考資料	13
1. 市民提案事業	14
2. 環境評価指標	15

環境政策アセスメント



1. 制度の概要

(1) 目的

「環境政策アセスメント」は、「第2次玉名市環境基本計画」に基づき、市民参加により環境に係る事務事業を評価する制度です。玉名市環境基本計画の核である「環境評価指標（本報告書 P15）」を用いて、市民の意見を市の環境に係る事務事業に反映することを目的としています。

(2) 事務事業の評価

事務事業の評価は、「第2次玉名市環境基本計画 P47 第4編運用体系 第2章事務事業の評価」に基づいて行います。事務事業の細事業ごとに、妥当性、必要性、有効性の順に「環境評価指標（本報告書 P15）」と比較し、○・△・×で評価します。

◆ 評価基準の解説

要素	基準の解説
妥当性	1つ以上の評価指標を実現するために、当該事務事業が妥当であるか？ 例)「事業内容が指標の趣旨に適合しているか?」「関係のない事業ではないか?」 ○：妥当である △：どちらともいえない ×：妥当でない
必要性	1つ以上の評価指標を実現するために、当該事務事業が必要であるか？ 例)「民間ではなく市が主体的にやるべきか?」「他の事業と重複していないか?」 ○：必要である △：どちらともいえない ×：必要でない
有効性	1つ以上の評価指標を実現するために、当該事務事業が有効であるか？ 例)「事業を実施することで、期待されるような効果が得られそうか?」 ○：有効である △：どちらともいえない ×：有効でない

令和元年度の評価は、4回の市民参加ワークショップにおいて行いました。令和元年8月1日（木）、令和元年8月20日（火）、令和元年9月11日（水）、令和元年9月25日（水）の会議に延べ33名の市民（全員公募）が参加しました。

◆ 評価シートの記入例

施策区分	事務事業	細事業	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数
施策区分①	事務事業A	細事業 a-1	○	○	×	-1点	-1点
		細事業 a-2	△	△	△	0点	
施策区分②	事務事業B	細事業 b-1	×			-1点	+2点
	事務事業C	細事業 c-1	○	○	○	+3点	
施策区分③	なし						0点
総合評価							+1点

採点方法：○は1つにつき1点、△は0点、×は1つでもあると-1点を付与する。

(3) 事務事業の見直し

事務事業の見直しは、「環境政策アセスメント」の結果（本報告書 P3～12）を参考に行います。事務事業の所管課ごとに、事務事業の廃止・変更、継続及び新規事業の提案を判断し、必要に応じて、実施計画の作成、予算の要求を行います（「第2次玉名市環境基本計画」P48 参照）。

2. 評価結果

総合計画（基本計画）		環境基本計画			環境に関する事務事業（令和元年度）				環境政策アセスメント（令和元年度）					
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額（千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント	
自然環境の保全	地下水の保全	①汚濁性要素が検出しない ②除草剤の使用量△25% ③水質が現在よりも改善	地下水保全事業 136千円	①地下水採取量報告業務	県地下水保全条例に基づき、地下水採取者から毎年1回採取量報告を受け付け、取りまとめる。	136	No. 1	×				-1	11	【河川の水質検査】分析は県が担当するが、検査結果が十分知らされないことが問題。 旧クリンセンターの地下水の処理を行っている事を知らなかった。いつまで続くか分からない事がショックに感じました。 旧焼却炉の後始末に半永久的な事業が必要とは思ってもいなかった。今後の取組を考える為にも今日は大変有意義でした 日頃何気なく捨てしまっている不燃物がこの様な土壌汚染につながるが、それが思っていない。出来る限り不燃物を出さない生活に心がけたい ゴミ焼却場跡の汚水の管理に予算が使われていることを知った。どのようなゴミ処理をするのか、それが使われなくなるとしたらどのようなデメリットがあるのか、市民を巻き込んで議論する必要があると思った。 焼却所がなくなっても、汚水管理をいつづつづなければならない、負の遺産があるという実感
				②県地下水測定計画に基づく水質検査業務	水質汚濁防止法に基づく地下水の水質汚濁状況の常時監視を目的とし、地域の代表地点の井戸や過去の汚染のあった井戸を調査する。採水・分析は県が行い、井戸所有者との連絡調整を市が行う。	0	No. 2	○	○	○	3			
			旧焼却場等跡地水環境整備事業 12,656千円	①旧クリンセンター汚水処理室運転管理業務	旧玉名市クリンセンター最終処分場跡地の汚水処理室の運転管理委託を行う。	3,709	No. 3	○	○	○	3			
				②旧焼却場等地下水水質検査業務	旧玉名市、横島町、天水町の焼却場跡地及び周辺の地下水の水質検査を行う。	3,822	No. 4	○	○	○	3			
				③旧焼却場施設等修繕業務	旧焼却場施設等の修繕を行い適切な維持管理を行う。	5,125	No. 5	○	○	○	3			
			河川環境保全啓発事業 1,646千円	①河川水環境事業	河川水環境に定期的な河川の水質検査、監視を委嘱する。	600	No. 6	○	○	○	3			
				②麻油石けんの普及事業	団体に麻油石けんの原料を支給する。	150	No. 7	○	○	×	△	-1		
				③EM活性液・ほかのEM活性物の普及事業	団体にEM活性液・ほかの原料を配布する。	452	No. 8	○	○	×	△	-1		

総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和元年度）		環境政策アセスメント（令和元年度）							
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
				④天水石けん加工施設維持管理事業	天水石けん加工施設の光熱費・燃料費を負担する。状況別により備え付けの機械等の修理をする。	293	No. 9	○	○	○	3		【各河川の水質について】魚の種類 微生物 魚と水との関係も少し各事業の横のつながりとか簡素も必要ではないかと感じました。
				⑤川の中の水生物調査業務	小学生を対象に、川の生き物調査を実施。生息している生き物の種類による、河川の水質の書き出しがわかり、河川の浄化意識につながる。	0	No. 10	○	○	○	3		調査についての事業は本当にさまざまありますが、慣例のものが多いイメージもあります。民意が入ること、それを打破していただくと切に願います。
				⑥生活排水汚濁水質浄化施設維持管理業務	佐明の三崎区、健台工区で地元的生活排水汚濁管理組合に清掃を委託する。	25	No. 11	○	×		-1		特定金属工業施設の検査⇒特定に陥らずすべての施設で実施された方がよいのでは。検査方法も住民との対話を交えたものであってほしい...
				⑦河川環境通報等処理業務	油流出事故等の河川環境事情に対する対応を実施し、環境の保全を図る。	126	No. 12	○	○	○	3		【菊池川流域同盟】広域の関係市町が河川浄化という目的で協力し合う。この方式は、環境対策のあらゆる分野で見習うべきと思う。
			環境調査監視事業 618千円	①河川水質検査業務	河川の水質検査を実施し、水質の経年変化を把握する。	337	No. 13	△	△	×	-1		用水路や排水路は必要なものだと思うので、予算をつけて整備してほしい。
				②工場排水土壌検査業務	特定工場の排水・土壌の調査、監視を実施する。	81	No. 14	○	○	△	2		なるだけ自然の形を残す工事を目標としてほしいと思います。いざ自然に戻そうと思ったら、相当な費用がかかります。子供達が身近に水と遊べる場所があることはとても大事だと思います。
				③駿島水質土壌調査業務	突発的な事故等を要因とする水質、土壌調査を実施する。	200	No. 15	○	○	×	-1		河川環境で、自然に近い川岸が保護されて行く事は絶対守りたいと思います。
			菊池川流域同盟事業 1,120千円	①菊池川流域同盟事業	菊池川流域9市町により河川浄化を図るための運搬強金。流域の運搬強化と水の大切さをアピールするイベントや植林、水質調査を行う。	1,120	No. 16	○	○	△	2		専用水路事業において水路の生物多様性について調査した上で水路工事ができるといいのわると思いました。ただ、水の流れのわるいところでは、残すべきものがあるかというところはわかりません。30年前に頼島にはヘイケボタルがたぐざんいたのですが、水路改良により絶滅したのを確認しています。このようなことがおこなわれればと心配しています。

16

総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和元年度）				環境政策アセスメント（令和元年度）					
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
							No. 18	△	△	△	0		
						500	No. 19	○	○	○	3		
						500	No. 20	○	○	○	3		
	沿岸環境の保全	①魚介類の再生 ②ごみがない ③自然に近い海岸が保たれる	なし									0	
	森林環境の保全	①森林から竹が駆逐される ②広葉樹の増加 ③定期的に間伐が実施される	なし									0	河川環境と森林環境は同時に考えて、別々に問題提起する事はどうかと思います。
			狂犬病予防事業 825千円	①狂犬病予防集合注射業務	4月、5月、11月に各地区を巡回し、狂犬病予防集合注射を行う。	807		—			-1		
				②野犬捕獲業務	野犬の苦情に対応し、有明保護所と連携し、捕獲業務を行う。	18		—			-1		

総合計画（基本計画）		環境に関する事務事業（令和元年度）				環境政策アセスメント（令和元年度）												
主要施策	施策区分	環境基本計画	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント					
環境保全への意識啓発	環境保全意識の向上	①自然環境に関心がある市民の割合が80%以上 ②ISO14001事業所の増加 ③こみ給い活動の実施回数増加	ふるさと五名の環境づくり事業 948千円	①環境基本計画 画進歩管理業務	五名市環境基本計画に相応している進捗状況を自己評価し、公表する。	88	No. 21	○	○	○	3	-9	環境保全の基本中の基本を押さえる向かっているのか。 環境問題は学校教育の場での啓発が必要と思う。(特に小・中学校での) 小・中学生を対象とする環境学習がほしい。見学会だけでは十分と言えない。					
			身寄りのない人の埋葬事業 200千円	①葬祭代理執行事業	身寄りのない人、引き取り手のない死体を適切な諸手続により埋葬・火葬の実施及び永代供養を行う。	200												
			横島墓地公苑管理事業 497千円	①横島墓地公苑管理業務	使用者から管理使用料を徴収し、修繕や除草・剪定などをを行う。	497												
			屋内消毒機貸出業務	②屋内消毒機貸出業務	希望者への屋内消毒機を貸出し。	1,650												
			防疫事業 1,806千円	①廁溝用消毒剤配布事業	流れの悪くなった廁溝などに撒く消毒剤を希望の行政区へ配布する。	156												
				②環境美化行動・クリーン作戦事業	市民や関係団体に参加を呼びかけ清掃作業を行う。	2												
				環境美化推進事業 102千円	①河川清掃業務補助事業	郷油川・妻川及び郷根本川の清掃作業を定期的に開催している団体に対して補助金を交付する。	100											
					③犬の登録業務	飼犬を登録管理し、行方不明犬の保護や咬傷事故等に対応する。	0											

総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和元年度）			環境政策アセスメント（令和元年度）						
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
				③地球温暖化 対策実行計画 推進業務	平成30年3月に策 定した玉名市地球 温暖化対策実行計 画（事務事業編） に基づき、市役 所、市関連施設の CO2排出量を調 査し、2018（平成 30）年度から2030 （平成42）年度ま でに基準年度2013 （平成25）年度比 で40.0%の削減を 図る。	186	No. 23	○	○	○	3	17	
				④地球温暖化 対策地域協議 会補助金業務	補助金を交付し、 協議会の活動を支 援する。	200	No. 24	○	○	○	3		
				⑤環境教育事 業	市内の小中学校の 児童生徒を対象と して、環境教育を 実施する。	474	No. 25	○	○	○	3		
				⑥ふるさと環 境づくり補助 金事業	玉名の環境づく りを行う団体等に補 助金を交付する。	0	No. 26	○	△	○	2		
	環境保全活動 の支援	①環境保全活 動団体数が増 加 ②小中学校の 環境保全実施 件数が増加 ③環境保全型 農業の増加	なし									0	環境の分野が多岐に渡っているの で住みやすい玉名市を考えた時、 環境保全の支援をもう少し予算を つけて取り組んで欲しい。各例の ある事に関しては何人とも市民の 力は及ばないので市民の力をもう 少し活用して欲しい。 他団体との関る事業が少ないイ メージ。
	公害の防止	①企業倫理の 復活 ②騒音苦情発 生率が現状よ りも改善 ③大気・水・ 土壌汚染数値 の減少	公害防止対策 事業 3,046千円	①公害苦情処 理業務 ②水質事故対 策業務 ③熊本県生活 環境の保全等 に関する条例 届出業務	苦情申し立てによ る現場確認、指 導等。 油流出事故発生時 の油回収、中和作 業 騒音・振動等、県 条例に基づく各種 届出書の受付、適 正指導業務	237	No. 27	○	○	○	3		騒音苦情など身近には接すること がないが、必要な事業かなと思 う。公害については、あまり考え てなかったが、とりくみは必要。 騒音・振動などの苦情処理業務が 多い印象。
						293	No. 28	○	○	○	3		空き家対策はやはり市がするしか ないし、観光など景観や犯罪対策 にも必要かと。
						0	No. 29	△	△	○	1		【空き地対策（苦情受付、指導業 務）】今後、ますます苦情が増えて

総合計画（基本計画）		環境基本計画			環境に関する事務事業（令和元年度）				環境政策アセスメント（令和元年度）				
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
循環型社会の 形成	ごみ分別収集 の推進	①資源ごみ種 類ごと回収量 が増加 ②分別方法の 認識向上 ③ごみ減量 10%	一般廃棄物適 正処理事業 163,143千円	①廃棄物収集 運搬委託業務	家庭から排出され る廃棄物の収集運 搬について廃棄物 処理業者に対し委 託を行う。平成 24年度から鶴岡・ 大木地区も民間委 託。	151,715	No. 37	○	○	○	3	10	プラスチックごみが燃料になっ ているだけなのに、経費や手間がか けられているのに驚いた。そもそ も小売業者がプラスチック包装 を減らす工夫に協力するのが効果 をなくすようにする！ プラスチックがほとんど助燃用と いうことが驚き。ならば空中に放 出される毒性を考え、可能な限り 減量に努めるべき。環境保全が 今、いかに行政に頼っているか反 省すべき。
				②プラスチッ ク類処理委託	家庭から出される ごみの中のプラス チック類を再利用 のため、新たに中 間処理を委託す る。	4,613	No. 38	△	×		-1		
				③不法投棄処 理委託業務	不法投棄に対し、 市内を5分割し、 それぞれを廃棄物 処理業者に巡回や 回収を委託する。	5,056	No. 39	×			-1		
				④不法投棄対 策事業	不法投棄に対し、 投棄された地権者 等に助言や指導を 行い、また重点地 域には看板等を設 置するなど不法投 棄をなくす環境づ くりを行う。	1,015	No. 40	○	○	○	3		
				⑤コンテナ回 収用エコパッ ク等作成業務	資源物の回収を行 う行政区等のため にコンテナ回収用 エコバッグを作成 し、配布する。	744	No. 41	○	○	○	3		
				⑥一般廃棄物 処理（収集運 搬）許可業務	処理区域の事業所 から排出される廃 棄物について、取 集運搬を行う廃棄 物処理業者に対 し、処理区域内で の活動の許可を与 える。	0	No. 42	○	○	○	3		

総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和元年度）			環境政策アセスメント（令和元年度）								
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント		
	循環型社会システム構築	①生ごみの堆肥化向上 ②住民の意識向上（3Rに努める） ③再利用率は70%を超えている	有明広域行政事務組合業務共通経費負担金事業 21,587千円	①有明広域行政事務組合業務共通経費負担金事業	清掃施設、衛生施設、斎場等各施設の維持管理に伴う人件費等負担金	21,587	No. 43	○	○	×	-1		生ゴミ処理にRMのコンポストを使っている。広報には、RMと書いてあるのでも、申請しなかった。RMのことを伝えてもよかったのかと思う。		
			ごみリサイクル・減量化事業 67,309千円	①ごみ袋作製委託業務	ダイオキシンを抑制し、環境にやさしい市の指定ごみ袋の作成委託。	64,159	No. 44	○	△	○	○	2		循環型社会、今後必要なので、自然環境保護は次世代に引継ぐ意味でも、今後とも学習していきたいと思えます。消費が生活向上と言ふあやまった考えをなくしていきたい。	
				②生ごみ処理機等購入費補助事業	ごみ減量化のため家庭用電気生ごみ処理機やコンポストの購入を推進、購入費に対し1/2又は上限3万円の補助を行う。	1,300	No. 45	○	△	○	△	1		レジ袋の削減を進める為に事業者と行政・市民の連携の合意が不可欠と思う。無料配布の中止を一日も早く実施出来るように知恵を出し合い御願いしたいと思う。環境為に予算化もお願したい。環境には.....	
				③ごみ収集力強化等作業業務	ごみ分別収集の徹底を図るため、市民が利用しやすいごみ収集カレンダー等の作成。	1,850	No. 46	○	○	○	○	○	3		ごみ減量に向けて、ゴミの元になる商品・製品を作っている事業者等に負担をさせて、社会全体がゴミ減量化に向う仕組み作りが必要ではないでしょうか。
				④ごみ分別等相談・啓発業務	ごみの分別や収集に関する電話相談、現場立会い、分別指導・啓発を行う。	0	No. 47	○	×	○	×	○	-1		6億円以上の巨額の費用を清掃施設維持に使っている事業を市民はもっと考えるべき。本来、これは誰が負担すべきなのか
				⑤ごみ集積場所等管理業務	区からのごみ集積場所の新設・移動・廃止などの要望に対応。	0	No. 48	○	○	○	○	○	3		
				⑥一般廃棄物処理計画策定事業	毎年度、一般廃棄物処理計画を策定する。	0	No. 49	○	○	○	○	○	3		
				⑦五名市分別収集計画作成業務	容器包装リサイクル法に基づく分別収集計画を5年1年度策定、また、3年1年度見直しをする。	0	No. 50	○	○	○	○	○	3		
				⑧清掃施設関係負担金事業 633,347千円		①公害健康被害補償金業務	公害健康被害補償制度賦課金に伴う負担金	420	No. 51	△	△	×	-1		

総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和元年度）			環境政策アセスメント（令和元年度）						
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
不法投棄の監視強化		①地域住民の監視の目が厳しくなる ②住民の意識向上（ポイ捨てしない） ③不法投棄の発生率が現在よりも改善	なし	②有明広域行政事務組合東部清掃責任負担金業務	東部環境センターにおける廃棄物処理責任負担金	443,342	No. 52	○	○	○	3		
				③有明広域行政事務組合1市3町清掃施設建設責任負担金業務	クリーンパークファイブ建設に伴う負担金	50,099	No. 53	○	○	○	3		
				④有明広域行政事務組合クリーンパークファイブ責任負担金業務	クリーンパークファイブにおける廃棄物処理責任負担金	138,720	No. 54	○	○	○	3		
				⑤有明広域行政事務組合パークファイブ責任負担金業務	パークファイブ維持管理責任負担金	666	No. 55	×			-1		
				⑥八嘉第四支那集会所管理運営補助金事業	旧玉名市クリーンセンター管理維持管理に伴う補助金	100	No. 56	×			-1		
			し尿処理施設等管理運営事業 153,533千円	①水の守運転管理業務 ②公衆便所管理業務	水の守の運転管理業務を委託。 ※H24から水の守（新施設）供用開始 市内4カ所にある公衆便所の管理業務を委託。	86,769		—			-1		
						934		—			-1		

総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和元年度）			環境政策アセスメント（令和元年度）						
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
				③一般廃棄物処理（し尿）・浄化槽清掃業者に対して清掃業許可業務	一般廃棄物処理（し尿）・浄化槽清掃業者に対して処理区域内の活動を許可。	0		—			-1		
				④有明広域行政事務組合衛生費負担金業務	一部事務組合衛生費負担金の支出	56,966		—			-1	-6	
				⑤有明広域行政事務組合衛生施設建設費負担金業務	一部事務組合衛生費負担金の支出	7,864		—			-1		
				⑥有明広域行政事務組合衛生施設設置市町村負担金	袋明町にある第1衛生センター改修費に係る負担金を支出する。	1,000		—			-1		

総合評価
70

◆評価結果についての意見募集

募集期間：令和元年12月4日（水）～令和元年12月25日（水）

提出された意見：1件

（直接、評価会議や環境政策アセスメントに関する内容ではありませんが）

評価会議の実施、環境政策アセスメント結果の整理、お疲れ様でした。

市民意見を取り入れた良い結果が集約されていると思います。

今後は、昨年度と今年度の会議へ参加されたメンバーをコアとし、地域と連携した形で具体的な取り組みが行われることを期待します（小規模でも構わないと思います）。将来世代を担う子どもや学生を取り入れると良いかもしれませんね。また、有志募集の形で構わないかと、今回のように定期的に集まることのできる形も継続させると、なお良いかと感じます（参加することで自身の意識啓発にもなる）。

持続可能な社会につながる仕組みづくりがポイントのように感じます。

◆採点方法及び評価結果の見方

まず、細事業ごとに採点し、“○”は1つにつき1点、“△”は0点、“×”又は“—”は1つでもあるとー1点を付与します。次に、施策区分ごとに細事業の点数を合計します。最後に、施策区分ごとの合計点数を集計し、総合評価を算出します。

総合評価の点数が高ければ高いほど、本市の環境に係る事務事業が「環境評価指標（本報告書P15）」に適合しており、市民の意見が事務事業に反映されていることを示しています。

参考資料



1. 市民提案事業

「環境政策アセスメント」の番外編として、令和元年10月30日（水）に市民提案事業を考えるワークショップ（12名参加）を開催しました。「環境政策アセスメント」の結果（本報告書P3～12）を受けて、「環境評価指標（本報告書P15）」のうち対応する事務事業がまったく存在しない5つの施策区分について、新規事業のアイデアを提案していただきました。

提案なし

【施策区分③】沿岸環境の保全

【施策区分④】森林環境の保全

提案No. 1
【森林環境の保全】

間伐事業



杉・ひのきの間伐も実施することによって、広葉樹を増やし、自然の多様性を取り戻し、結果として水の保全も望むことができる。


予算額 10,000千円

【施策区分⑥】環境保全活動の支援

【施策区分⑧】温暖化の防止

提案No. 5
【環境保全活動の支援】

環境について考え、行動する子供と育てる事業




様々な環境活動の専門家と連携し、小中学校へ派遣する団体をつくる。
小中学校に定期的に教えに行くと。

予算額 100,000千円

提案No. 82
【温暖化の防止】

生活の足タクシー事業




小学校区ごとにたれでも利用できる低料金（ワンコイン程度）タクシーを複数台常駐し、買物、病院などへ気軽に利用する。趣味マイカーの時に、なるべく乗り合わせる。

予算額 1億34万千円

【施策区分⑪】不法投棄の監視強化

提案No. 3
【不法投棄の監視強化】

ゴミ削減システムの構築事業

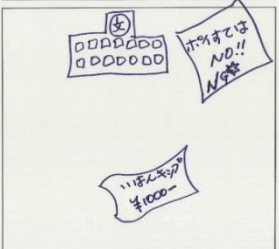


1. デジタル化の導入
2. 製造者のゴミ処理費用の負担制度
3.

予算額 300,000千円

提案No. 4
【不法投棄の監視強化】

ポイ捨て削減システムの構築



1. ポイ捨てをしてはいけませんという価値感を持つ子どもたちの教育
2. ポイ捨ての罰則化

予算額 15,000千円

2. 環境評価指標

「環境評価指標」は、「第2次玉名市環境基本計画」の策定に伴い、市民参加ワークショップを通して選定された指標（「第2次玉名市環境基本計画」P42 参照）です。「環境政策アセスメント」を行う上での基礎となり、市民の価値観を行政の事務事業に反映させる役割を担っています。

主要施策	施策区分	評価指標 1	評価指標 2	評価指標 3
自然環境の保全	①地下水の保全 	硝酸性窒素が検出しない	除草剤の使用量 △25%	水質が現在よりも改善
	②河川環境の保全 	自然に近い川岸が保護される	生活雑排水の適正処理率アップ	生き物が豊富
	③沿岸環境の保全 	魚介類の再生	ごみがない	自然に近い海岸が保護される
	④森林環境の保全 	森林から竹が駆除される	広葉樹の増加	定期的の間伐が実施される
環境保全への意識啓発	⑤環境保全意識の向上 	自然環境に関心がある市民の割合が80%以上	ISO14001事業所の増加	ごみ拾い活動の実施回数増加
	⑥環境保全活動の支援 	環境保全活動団体数が増加	小中学校の環境保全実施件数が増加	環境保全型農業の増加
	⑦公害の防止 	企業倫理の復活	騒音苦情発生率が現状よりも改善	大気・水・土壌汚染数値の減少
	⑧温暖化の防止 	バイオマス発電施設が増加	節電取組み件数が増加	公共交通機関利用者の拡大
循環型社会の形成	⑨ごみ分別収集の推進 	資源ごみ種類ごと回収量が増加	分別方法の認識向上	ごみ減量 10%
	⑩循環型社会システムの構築 	生ごみの堆肥化向上	住民の意識向上（3Rに努める）	再利用率は70%を超えている
	⑪不法投棄の監視強化 	地域住民の監視の目が厳しくなる	住民の意識向上（ポイ捨てしない）	不法投棄の発生率が現在よりも改善

※評価指標の1～3は、優先順位（得票順）を表す。

